

# 看護職員の負担軽減及び処遇改善に関する取組（2025年度）

## 1. 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する体制

- |             |   |
|-------------|---|
| (1) 責任者     | 看護部長 村上笑子   |
| (2) 勤務状況の把握 | ①平均週 38 時間（時間外平均 0.5 時間）<br>②夜勤時：仮眠 2 時間含む休憩確保<br>③勤務時間・超過勤務・有給取得率を把握し必要時改善 |
| (3) 推進体制    | 勤務医・看護師業務負担軽減会（年 3 回）   |
| (4) 計画管理    | 計画策定・年に 1 回の見直しと職員周知  |
| (5) 公開      | 院内掲示およびホームページ   |

## 2. 具体的な取り組み内容

項目	内容
(1) 業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整
(2) 看護職員と多職種との業務分担	医療事務、薬剤師、リハビリセラピスト、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師、医師事務作業補助者
(3) 看護補助者の配置（夜間配置あり）	日常生活の支援 病棟内環境整備 移動・送迎介助 事務的業務等を行う看護補助者の配置
(4) 短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の活用
(5) 多様な勤務形態の導入	多様な勤務形態の導入
(6) 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	夜勤の減免制度 休日勤務の制限制度 半日・時間単位休暇制度 他部署等への配置転換 夜勤専従者の増員

### 3. 看護職員の負担軽減・処遇改善 計画表（2025年達成）

区分	具体的取組	評価方法	中間評価 (10月)	最終評価 (3月)
業務中断対策	外来電話は医療秘書 配薬は事務ケアスタッフへ分担 (既存取組の継続・運用強化)	業務分担状況の確認 職員ヒアリング	80% 電話・配薬の分担は 実施済みで、看護師 負担は軽減	80% 業務分担は定着し、 継続的に運用
タスクシフト	薬剤師・臨床工学技士・リハビリ等への 業務分担 2025年度は赤沈検査を看護師から検 査室へ移行	業務内容確認	80% 多職種への分担およ び検査移行により負 担軽減を実施	80% 役割分担は概ね定 着、継続的な改善が 必要
看護補助者活用	各病棟配置 業務拡大 マニュアル見直しと周知 看護師とペアでできる業務を指導、実施 入浴介助時の熱中症対策としてクール ベストを導入	業務分担確認 職員ヒアリング	60% 労働環境改善により 負担軽減を実施	80% 一部部署でペア業 務は月に数回実施 看護師負担軽減に 寄与
勤務体制見直し	夜勤・休日是正 個別面談の実施 勤務表ルールを見直し院内統一を実施 E 勤務の出勤時間変更等の見直し	勤務表作成時の確 認 ルールの周知	60% 体制見直しは実施 済み、運用は調整 段階	80% ルール統一により負 担の平準化は概ね 達成
業務量調整	配置調整（リリーフ） 夜間の患者数・人員確認（17時・22 時）・病棟巡回（21時）	患者数・出勤者の確 認 当直記録・報告	80% 夜間の配置確認・巡 回により負荷調整を 実施	80% 業務量に応じた配置 は概ね実施
業務効率化	情報共有の電子化 赤沈検査物品の見直しと移行	業務状況確認	40% 見直しは進行中で 効果は限定的	80% 改善により効率化が 進み一定の成果あり
夜間負担軽減	管理当直者による配置確認および病棟 巡回の実施	当直記録	80% 配置確認・巡回によ り負担軽減を実施	80% 適正配置が維持さ れ安全に運用
勤務環境改善	勤務間隔 11 時間確保 正循環勤務の実施 各種支援制度の活用	勤務表 勤怠データ	80% 環境は整備済みだが 改善余地あり	80% 環境は維持され時 間外抑制に寄与

なお、タスクシフトについては、別紙（2025年度看護師負担軽減計画）参照